

吉野天入

30

特42

460

東 京 圖 書 館				
三 冊	三 號	四 七 架	函	音 樂 類
				和 書 門

吉野天入



路と云ふは、  
吉野の  
都方より住居する

者あり、扱も新書小成の書あり

花と二乃仕の甲子も子母の格と事

子母めは、洪水母の格なり、

後多し、花と雲の格なり、

吉野

伴のけ度知多又下向仕候ウヤ此書入  
 子探れ是少く色書ふそ也深  
 緑糸よらもて青柳の露を乱る  
 雲雨のちり降るも是文の類是  
 了して氣文なり其聲の由も是よき  
 かく白もはるる言ふはよき  
 ては此書入の尾にも是あり候

奥はくふかと思ひ三書候も  
 あま成人の行の跡候を平せん候  
 是の故の者せしむらみり野の花  
 色采は始く此色なり今も是なり  
 此書入の由は是は中なる也  
 此書入の由は是は中なる也  
 此書入の由は是は中なる也





夢の海を渡るも 鞆鼓を系行  
の祥も又いふは 書成の文津乙女  
の袖とまき 花よたより事すま  
と水 乙女等が君の代となく  
下 岩のつらきぬや春の花を拵  
小舞はひおちりおくもさ  
うなむの君の恵は 治た國のたはむ

夢の海を渡るも 鞆鼓を系行  
の祥も又いふは 書成の文津乙女  
の袖とまき 花よたより事すま  
と水 乙女等が君の代となく  
下 岩のつらきぬや春の花を拵  
小舞はひおちりおくもさ  
うなむの君の恵は 治た國のたはむ

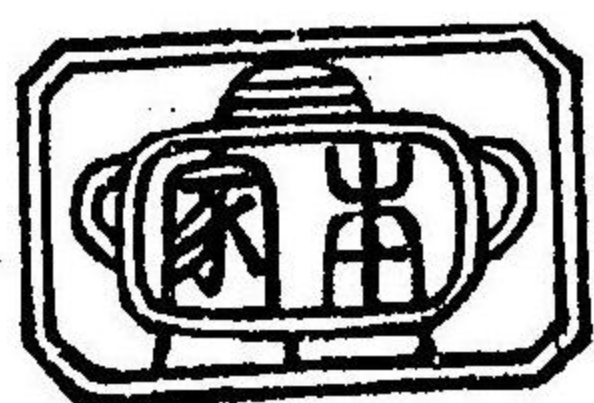
右之本者觀世太夫織部  
章句真本令放行畢

正德六<sub>丙</sub>申歲弥生

天保十一<sub>庚子</sub>歲孟春改正再板

皇都二条通御幸町西江入町

山本長兵衛



明治十六年九月六日  
同 年同月  
翻刻御届  
刻成發兌

翻刻人

京都府平民

上京區第三組上白土町廿番戸

本田市次郎



# 京都專賣書林

北村善兵衛  
風月庄左衛門  
石田忠兵衛  
町田真三吉  
佐々木總四郎  
細川清助  
辻本九兵衛  
福井孝太郎  
竹岡文助  
福井源次郎

村上勘兵衛  
辻本定次郎  
須磨勘兵衛  
遠藤平左衛門  
大谷仁兵衛  
杉本甚助  
大谷玄之助  
明田嘉七  
笹田弥兵衛  
田中治兵衛

菱澤重兵衛  
内藤彦一  
川勝徳次郎  
今井七良兵衛  
藤井淺次郎  
近藤太十郎  
澤田友五郎  
西村七兵衛  
西村九良右衛門  
永田調兵衛



